

十三小学校研究推進便り

11月29日(火)、5時限目 第7回の研究授業。

4年 感想を伝え合おう。

「ごんぎつね」

亀井 木綿 学級

<研究授業参観に当たって>

今年最後の研究授業となりました。協働的な学習をめざして、1学期より各学年で取り組んできたことの総まとめです。ごんの気持ちを考えるための発問、そして、兵十の行動に対しての自分の考えを交流することで、より深い学びにつなげていけるのかについて、みんなで検証していきたいと思います。

<研究授業では、つぎの視点でみてください>

単元構成の工夫（単元を貫く言語活動）

「読みの観点」の習得→活用が図れる流れであったか。

- ① 言語活動に迫るための活動が効果的であったか。

協働的な学びに迫る交流について

- ① 自分の考えを持つための工夫（ワークシートやノート指導、助言、思考ツール等）
- ② 交流のあり方

言語力・表現力を高める工夫

- ① 掲示物は適切か。
- ② 関連図書が生かされているか。

<亀井先生のつぶやき>

初発の感想を交流したとき、「ごんはなんでいたずらばかりするのかな?」「いきなりうつなんて兵十ひどい!」「うたれたけどごんはうれしかったと思う」など、課題につながるつぶやきや疑問が出てきました。結末については、「ごんが悪いことをしていたから、うたれてもしょうがない」と考える児童が多かったです。ごん日記を書いてごんの気持ちに寄り添っていくことで、児童の考えはどのように変化するのか。本時では、これまでの学習を振り返って、ごんをうった兵十を許すことができるか考えたいと思います。

<授業参観後の討議会について>

ワークショップ型の討議会を行います。授業を参観しながら、気付いたことを付箋「成果（ピンク）」「課題（黄）」「改善策（青）」に記入してください。

今回は、3班（1グループ4～5人）に分かれて話し合います。裏面で班と役割を確認してください。

○自分の思いや考えを広げたり高めたりするための話し合いの評価をする。

- (低学年)
- ・大事なことを落とさずに話したり聞いたりできたか。
 - ・順序を考えて話すことができているか。
 - ・自分の意見に理由を言うことができたか。
- (中学年)
- ・友達の意見を聞いて自分と同じところ、違うところを意識できたか。
 - ・友達の意見に対して自分の考えを言うことができたか。
 - ・理由や例などを挙げて自分の意見を説明できたか。
- (高学年)
- ・お互いの意見を聞いて、考えの変化に気づいたり、新たに思ったことや考えたことが見つかったりしたか。
 - ・目的や意図に応じて的確に話しあうことができたか。
 - ・複数の根拠を関係づけながら話すことができたか。